平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 044	**提案機関名**	農業技術センター三浦半島地区事務所

要望問題名

キャベツ地床育苗に対応した農薬の登録拡大について

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

近年、キャベツ等において全国的な自動定植の導入に伴いセル苗育苗に対応した農薬登録が進んでいる。一方三浦半島は、低コスト及び厳寒期に大苗による定植を行うことなどから、地床育苗が主流である。

育苗期や定植初期に問題となるカブラヤガやハイマダラノメイガの防除対策については、育苗時の薬剤散布の効果が大きく登録農薬の拡大が望まれる。

キャベツ作付面積（平成20年産野菜生産出荷統計より） 三浦市 751ha、横須賀市 357ha

解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	農業環境研究部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名 （①、②、④の場合）

新農薬実用化試験

対応の内容等

農業環境研究部及び三浦半島地区事務所研究課で当該課題においてここ数年、日本植物防疫協会から複数剤の試験委託を受け実施しているところです。すでに農薬登録に必要な試験例数もそろった薬剤もありますので、登録までもうしばらくお時間をいただけますようよろしくお願いします。

また、各農薬メーカーにもこれまで地床育苗用の薬剤が必要なことを伝えてまいりましたが、今後も登録剤数が増えるよう引き続き農薬メーカーにも要望してまいります。

解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備　考	